

平成24年版

地域住民の皆さんへ

町会案内

《加入申込書》



柴又北野町会

葛飾区柴又1-29-3
Tel: 3608-2772



町会加入の勧め

当地域によろこそいらっしやいました。私たち北野町会は、新しくお住まいになられた皆さんを心から歓迎いたします。

区内どこの地域にも自治町会があり、地域での防災・防犯・環境美化などの地域共通の課題への取り組みや地域の親睦を目的としたラジオ体操会・盆踊り大会・敬老祝賀会・社会見学会・旅行会・・・など様々な活動を行っています。

いざというときには、お隣さんやご近所の人たちが頼りになるとよく言われています。私たち北野町会は、「遠くの親戚より地域の町会」をモットーに、地域の輪を大切にして、明るく住みよい街づくりのため積極的に活動しています。

町会って・・・何をしているの？

よく町会に入ってもメリットがないから・・・という声を耳にすることがあります。が、果たしてそうでしょうか。

北野町会では会員に対し、区など行政からの仕事のほか、次のような「町会独自」のサービス・便宜を図っています。

- ◎ 災害が発生した場合は見舞金の支給、会員が亡くなられたときは弔慰金の支給を行っています。
- ◎ 町会会館の部屋貸し、テーブル、座布団、リヤカー、脚立、車椅子等の貸し出しを行っています。
- ◎ 町内の防犯灯の設置、修理、電球取替えを行っています。また、防犯灯の電気料金は町会が負担しています。
- ◎ 町内に備えている消火器（約 180 本）の点検、補充等保守管理を区役所と共同で行っています。
- ◎ ごみ収集に対し、清掃協力会に補助金を出しています。また、会員の苦情処理《主として集積所ゴミ出しのルール》等にも対応しています。

また、町会が主催する行事には次のようなものがあります。

- ☆ 70 歳以上の高齢者には、毎年敬老の日に祝賀行事を行っています。
- ☆ 七福神巡り、夏季ラジオ体操、納涼盆踊り大会、親睦旅行会、社会見学会および手芸（料理）教室など会員に対するレクリエーション事業を行っています。
- ☆ 小学校新入学児童に対し、お祝い品、お守り（北野天満宮）を贈っています。



全国的にあちこちで地震や洪水などの災害が多発しています。いざ災害が発生したら被害者に区から乾パンや毛布などが配布されます。当町会の避難先は北野小学校と桜道中学校が指定されています。これら避難先における采配は町会役員が中心となって行うことになっており毎年各学校において避難所運営訓練を実施しています。

避難先における救済活動は会員、非会員の差別なく対応することは当然のことですが、安否の確認等を迅速且つ効果的に行うためには会員になっていただくことが大変重要になってきます。中越地震の体験談によると、町会の名簿が大変役に立ったといわれています。

葛飾区役所から助成金の交付を受け、私たち町会は行政の末端を委ねられています。また、警察署や消防署とも連携し、安全で安心できる街づくりに努めています。

では、具体的にどんなことが行われているか例を挙げると次のような協力、作業を行っています。

- ★ 国勢調査、工業・商業・土地家屋調査等
- ★ 保護司、児童・民生委員、地区委員、選挙管理者・立会人等の推薦
- ★ 区の広報、暮らしの便利帳、印刷物の回覧・配布・掲示等
- ★ 災害時の必要備品、食料品（乾パン、炊き出し米等）の備蓄、配給
- ★ 防犯パトロール、交通安全運動の参加、防災訓練の実施

このように町会は直接、間接を問わず満遍無く地域居住者のために身近なサービスを行っていることで地域社会に役立っている団体であることが、ご理解いただけたと思います。

私たち町会は、心の触れ合う和やかな街づくり・・明るく住みよい街づくりを目指しています。

ご近所に新しく住まわれる方、また、既に住んでおられる方で未加入の方は、「**遠くの親戚より近くの他人**」という格言を思い起こして、この際は是非町会にご加入くださいますようお願いいたします。《**随時役員が勧誘に参上いたします。**》



未加入の方、新たに転入された方

町会加入の申し込みは、町会事務所（TEL 3608-2772）へ。
または、最寄りの役員・理事さん
組長さんへお声をかけてください。

柴又北野町会のあらまし

柴又北野町会は柴又 1～3 丁目及び柴又 4 丁目、金町 1 丁目の一部の居住者をもって構成し、地区別に 1 部から 6 部まで、220 組からなる自治会組織です。葛飾区内には 241 の自治会組織がありますが、当町会の地域居住者は 4,000 世帯を

超え規模で上位 3 番目にランクされる区内有数の自治会組織であります。

また、平成 17 年 7 月、葛飾区で 17 番目に法人格の資格を取得しました。町会の運営は会則に基づき会長以下、役員及び理事総勢 57 名（平成 24 年 5 月現在）で行い、会員の皆様のご協力により地域活動を進めています。

- **主な事業** 各事業部が主管する行事及び催し等は別掲の通りですが、関係官庁からの各種委員・調査員の選任及び調査活動や防犯・防災訓練等の動員に協力しています。
- **補助事業** 町内の防犯灯の設置、メンテナンス及び電気料金の負担、ごみ収集、防災協会、防犯協会、柴又新生会（高齢者クラブ）、子供会・・・等に対する補助金を町会の予算から支出しています。
- **組 織** 本部の直轄下に総務部、防犯・交通部、防災部、青少年文化部、生活厚生部及び 220 組の組長で構成されています。
- **広 報** 町内 30 ヶ所に専用掲示板を有し、官報・訃報・及び各行事の広報等啓蒙文書の掲示並びに各組単位別に随時回覧板による広報を行っています。
- **会 費** 一般会員月額 250 円以上（一括年払い又は分割払い）
賛助会員年額 6,000 円（毎年 4～5 月一括払い）

*上記もろもろの事業及び住民サービス等に係わる費用は、町会費で賄っています。

その他、北野小学校のわくわくチャレンジ広場「わくチャレ北野」活動に参加や柴又地区連合自治町会（近隣 6 自治町会）との交流等を行っています。

キリトリ

柴又北野町会 御中

入 会 申 込 書

平成 年 月 日

氏 名：	[電話]
住 所：	柴又 丁目 番 号

各部年間主要事業(平成23年4月～平成24年3月)

事業部	事業名	実施月
●防犯・交通部	春の全国交通安全運動	4月
	夏季防犯パトロール	8月
	秋の全国交通安全運動	9月
	歳末防犯パトロール	12月
	防犯座談会	12月
	防犯青色回転灯車パトロール	毎月第2・4土曜日,他
	防犯灯の保守管理	随時
●防災部	防災訓練	11月
	消火隊訓練	毎月第1月曜日
	防災・防火講演会	12月
	消火器点検	随時
●青少年文化部	夏季ラジオ体操	7月
	納涼盆踊り大会	8月
	七福神巡り	1月
●生活厚生部	環境美化クリーン作戦	5月
	各種講習会・歌声喫茶	10月
	小学校入学児童祝品贈呈	3月
	社会見学会	3月
	町内清掃活動	毎月第1水曜日
●(総務部主管)	定期総会・新組長会議	4-5月
	敬老祝賀行事	9月
	親睦旅行会	2月

町会事務所



柴又1-29-3 北野町会会館内

電話 3608-2772

開業時間 午前9時～午後6時

定休日 毎週火曜日

但し、訃報等緊急な場合は、総務部長または、役員にご連絡ください。

* 部屋・備品類の貸し出し

町会会館の部屋貸し、座卓、長テーブル、いす、座布団等の有料貸し出し、その他リヤカー、車椅子、脚立等の無料貸し出しを行っていますので、お気軽にご利用ください。

◆新宿（ニジウキ）について

もとの新宿町は室町時代の末期（戦国時代）に中川対岸の青戸に「葛西城」（関東管領・上杉氏方の城として）が築かれた時に、その城下町としてまた、水戸街道、佐倉街道の分岐点にあたり宿場町として発展し、新しくできた宿、すなわち新宿と呼ばれるようになったという。新宿と亀有を結ぶ中川橋は昔、渡船料をとった所です。明治 6 年に区内最古の新宿尋常高等小学校が創立され、市郡併合当時の昭和 7 年に新宿小の分教場として住吉尋常小学校が新宿 3 丁目に設立、同 10 年独立校となる。生徒数が多くなったので住吉小の分校として昭和 28 年に北野小学校が新築され今日に至っております。

◆鷺沼について

北野町会を中心とした地域は白鷺等の水鳥が遊ぶ低湿地で、その中でも僅かな微高地（旧国分道・古録天神社から八幡神社方面への道・これは大昔の海岸線で波の活動により砂州が出来、土地が高くなった。また、河川の氾濫により土地が寄ってきた）があり、鷺沼という地名で、昭和の初期までは農家ばかり 18 戸のどかな農村風景でした。小学校は新宿小まで歩いて通学。その途中、新造と呼ぶ 7 戸の農家があり山勝会長（当時）の本家付近（新宿 3 丁目）には両側が用水路にはさまれた竹藪のある中州の山があり、梅もどきなどがきれいに咲いていました。

歴史的には平安末期に源頼朝が鎌倉に入る前に宿営したとされる「鷺沼の御旅館」はこの地に当たるとされる説が現在では定説となっている。即ち、頼朝が石橋山の合戦に敗れて、再起を期して安房に逃れ、軍勢を集めながら上総、下総と攻め上がり市川、八切（矢切）で大日川（現在の江戸川）を渡って「鷺沼」の宿館に泊まったと記録されている（従来は習志野市の鷺沼だと言われていたが、それだと市川まで進んで来た軍勢を東に戻すことになるので、大日川を渡った所にある「鷺沼」が妥当とされた）。

◆矢付について

文字から、戦国時代の国府台合戦時に流れ矢が飛んで来たから名づけら

れてたという説があり、小岩用水に架かる橋の名に「矢付橋」があったが、現在は矢付交差点として残っている。

◆ 矢切について

矢切は平安時代に、既に地名として存在していた。即ち。源頼朝が軍勢を率いて大日川（大井川・江戸川）を渡る時に八切（矢切・この所には川中に島があり、浅瀬が殆どだった）にて渡河していた。

この地名は現在は「矢切」と表記されているが、八切とも書かれ、又、「谷切」とも書かれた。つまり、自然に谷は出来たか、山を削って谷道を作ったのかは不明ですが、その地形から名づけられたと思われる。

つまり、国府台合戦時に関わる地名ではないそうです。

◆「北野町会」の名前について

この地域の氏神の古録天神社に現在合祀されている「北野神社」に由来している。（ちなみに北野小学校の校名も同様）

明治 29 年国鉄常磐線が田端―土浦間で開通し金町駅ができ、そのためか柴又帝釈天の庚申に又、当時は江戸川堤に三千本の吉野桜が植えられていたので花見客等が急激に増え活気を呈しました。

明治 32 年には柴又一金町間に人車鉄道（人間が 4, 5 人で押す）が設立され当時の若衆は手間稼ぎをしたそうです。大正 2 年に京成電車が開通し、人車鉄道は京成電気軌道（現在の京成電鉄）に引き継がれました。

大正元年に京成高砂駅が開業されました。明治の頃はマガリガネ（曲金）と呼ばれていましたが、語呂がよくないとのこと縁起のいい高砂と名前を変更したそうです。交通の便利がよい高砂駅に近い鷺沼の有志が相談して、昭和 2 年に近代的な耕地整備組合を結成して葛飾区内でも珍しい碁盤の目のような道路をつくったのが現在の発展の基礎となりました。

しかし、田んぼと畑の道路は整備されたが、小岩用水路には舟が浮かび、川魚が沢山とれ、夏には蛍が飛びかうのどかな田園風景でした。人家は京成柴又線付近にポツリポツリ。人家を増やすには公衆浴場を建設したら・・・、ということで住吉湯（現在は民家）を開業したが、閑古鳥が鳴く有様でした。

大正 15 年金町浄水場ができ江東区、墨田区など区外に給水を始めたが、葛飾区に給水されるようになったのは昭和 8 年からです。

古録天神社の前の道を「水道みち」と古くから言っています。浄水場ができたときに千住方面への水道管を埋めた道なのでそう呼ぶようになったのです。この水道管を守るため他の道路と交差するところには大きな石柱を立てて車が通れないようにしました。

「水道みち」は金町公園から一直線に伸び中川の土手にぶつかり、中川の上を給水管が通っています。当時は道幅も狭く人が歩くところ以外は草がぼうぼう生えていたものです。地元の子供たちはよくブリキのバケツを持って中川の土手の穴にいるもくず(藻屑蟹)を獲って来たその蟹が、夜通しバケツの中で爪を立てるので、うるさいと親に叱られたものでした。

その頃は商人が天秤棒をかついできたり、酒屋、すし屋、そば屋、電器屋さんなどは一軒もなかった時代があり、突然のお客さんが来たときのご馳走は「生みたての玉子でつくった玉子焼」でした。

昭和 16 年太平洋戦争が勃発し、本土が初めて空襲されたのは昭和 17 年 4 月東京初空襲で、そのとき常磐線の金町駅付近(現在のKSC=金町スイミングクラブ)に爆弾が落ち大きな穴があきました。町内にも爆弾や焼夷弾が落とされました。

昭和 20 年 3 月 10 日には東京大空襲があり墨田区、江東区、台東区などで殆どどの家が焼かれ、沢山の人が亡くなりました。その晩は墨田区の方の火事のため昼のように明るかった悲しい出来事がありました。

終戦後、戦災を受けなかった新宿 4 丁目町会に他の地区から罹災者や疎開した人達が戻ってきて商店街も出来、活気ある街となりました。医療施設は戦前から柴又病院(戦後柴又ぼーる〈ボーリング場〉になり、現在柴又地区センターと都営アパート)が存在したが、結核療養病院だったので一般人にはなじみが薄かった。また、高砂に土屋医院(現在の土屋クリニック)と横山医院だけでした。公共建物としては消防出張所(現在の青和信用組合柴又支店)、亀有警察署派出所、郵便局などが出来ました。

昭和 28 年北野小学校は池を埋めて建てられたが、あたりは一面の田んぼで、柴又駅の電車が見え、牛馬が農道を闊歩していました。川の水はとてもきれいで大

根など野菜を洗い、ふなやどじょうなどたくさんいたので子供たちはかい掘り(川を一時的に堰きとめて魚を採る。)や魚釣りを楽しみました。まだ、第2次世界大戦(太平洋戦争)が始まる前、現在の桜道中学校と京成ドライビングスクールの上に小川があり、夏の夜は獲って来たホタル(蛍)をカヤ(蚊帳)の中に放して寝た覚えがあります。今の町内の様子からは想像もできないくらい緑豊かで水のきれいな街でした。

◆柴又について

正倉院古文書によると奈良平安時代の1200年前からあった柴又は嶋侯と書き、当時42戸、360人の人達が農耕生活をしていた平和郷でした。

一番古い歴史のお寺は川千家前の真勝院で、大同元年の創立だから一千年以上たっています。次が柴又3丁目の良観寺(明暦元年)で柴又帝釈天として有名な題経寺は寛永6年の創建。真勝院付近を上屋敷、亀有信用金庫柴又支店付近は下屋敷という地名でした。

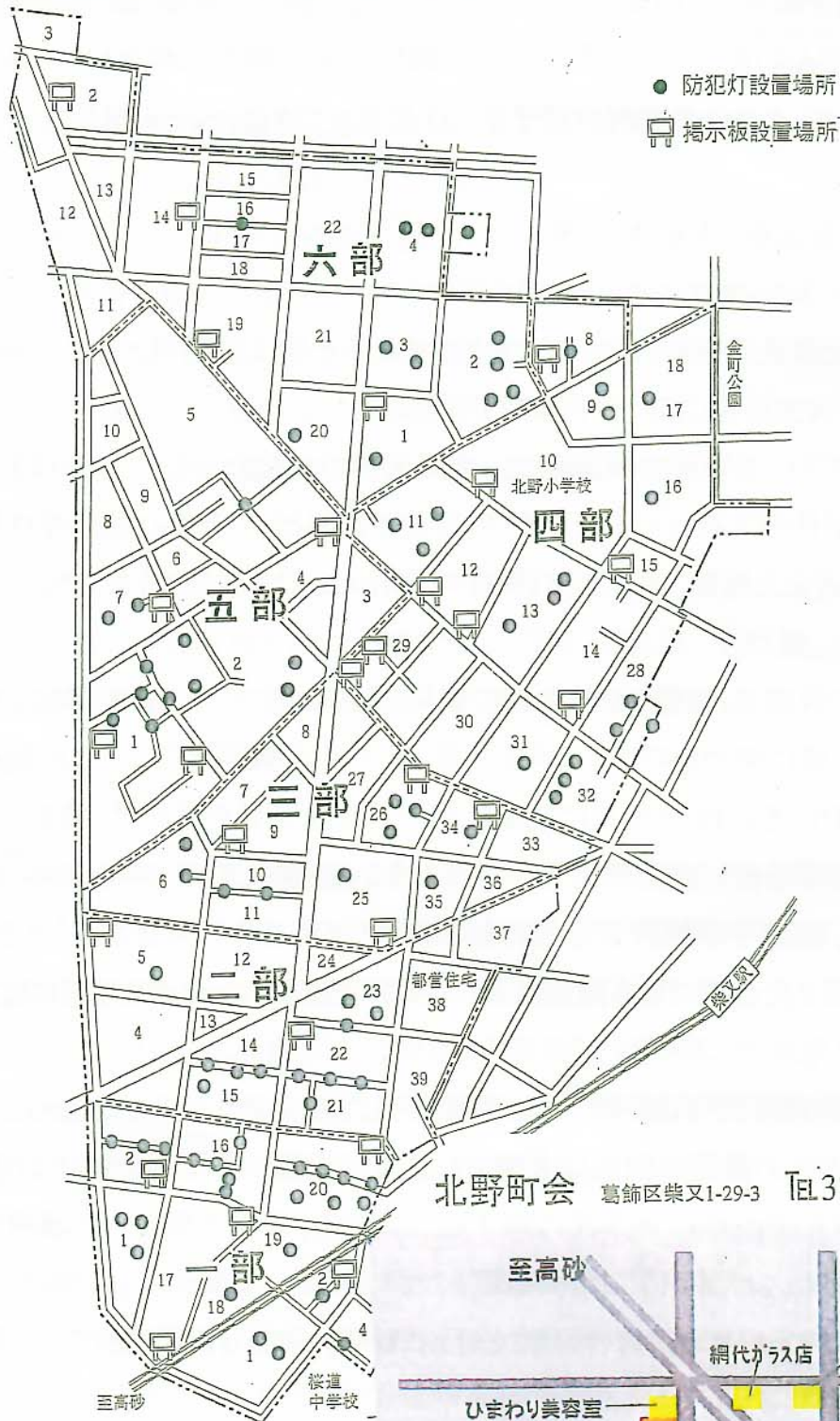
歴史的にみると、その後柴又は国府台の合戦の戦場となったところで、小田原城を攻撃した北条早雲は関東全域に勢力をのばした。早雲死後、その子氏綱が天文7年に足利義明を国府台合戦で打ち破り、その後26年目に北条氏康が第2次合戦を挑んだ。第1次合戦では北条軍は巧みに弓軍を使い集団戦術をとったというから、京成ストア(現在は事務所)際の矢付橋の名前は、桜道中学校付近を矢付村と呼んだのもこれに関係あるようです(矢切りの渡しも同じ)。第2次合戦でも本陣を立石に、先陣を柴又、小岩の2方面にしてハサミうちの攻撃をかけた地点でもあります。

この合戦には葛西地区の農民が兵糧米の供出や雑兵として徴発された者が多かったといわれ田畑は荒らされ、本区の農民の困窮は大変でした。この二度にわたる合戦により房総連合軍は敗退して関東の支配権は北条氏に帰することになり、下総の国だった隅田川以東の地(現在の江東5区)はこの支配下になり武蔵国となりました。

現在私達は東京都民ですが、この国府台合戦で里見軍が勝っていれば葛飾区は下総国で千葉県民となっていたでしょう。

(北野町会の会員名簿より抜粋 平成24年5月)

北野町会 掲示板・防犯灯設置図



北野町会 葛飾区柴又1-29-3 TEL3608-2772

